

## 第3学年 社会科学学習指導案

### 1 単元名 「江戸川区のうつりかわり」(全15時間)

### 2 単元の目標

江戸川区の様子の移り変わりについて、交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、聞き取り調査をしたり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめ、区や人々の生活の様子を捉え、それらの変化を考え、表現することを通して、区や人々の生活の様子は、時間の経過に伴い、移り変わってきたことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決し、学習したことを基に、これからの区の発展について考え、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。

### 3 小単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>① 交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いについて、聞き取り調査をしたり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、区や人々の生活の様子の移り変わりを理解している。</p> <p>② 調べたことを年表や文などにまとめ、区や人々の生活の様子は、時間の経過に伴い、移り変わってきたことを理解している。</p>	<p>① 交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、問いを見出し、区や人々の生活の様子の移り変わりについて考え、表現している。</p> <p>② 駅や鉄道、公共施設ができたこと、人口が増えてきたこと、土地利用の様子や生活の道具が変わってきたことなどを相互に関連付けたり、区の様子の変化と人々の生活の様子の変化を結び付けたりして、区や人々の生活の様子の変化を考え、適切に表現している。</p>	<p>① 区の様子の移り変わりについて、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。</p> <p>② 学習したことを基に、地域社会の一員として、区の発展について考えようとしている。</p>

### 4 研究内容との関連

#### (1) 教材について

本小単元では、江戸川区の様子の移り変わりについて、交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して調べていく。「調べる」段階では、1つの問いに対して2時間を掛けて、「調べる→地域人材の話を聞く→年表にまとめる」という授業の流れを設定することで、区の様子の変化と人々の生活の様子の変化を結び付けて考えることができるように教材の開発を行った。

#### (2) 学年部会の研究内容との関連

##### ①主体的に追究する問いの工夫

単元の導入場面において、地域の変化と人々の生活の様子が具体的につかめる教材提示を行うことで、「どのように変わってきたのか?」という問いをもたせ「調べてみたい」という意欲につなげるようにした。調べる活動では、第1単元の既習事項を活用し時間的な問いがもてるようにした。また、地域人材に話を聞いたりインタビューしたりする活動を取り入れて、児童の追究意欲を持続させ、新たな問いがもてるようにした。

##### ②社会的事象の見方・考え方を働かせる学習活動の工夫

児童にとって身近な江戸川区の昔の写真や地図など地域教材を使って、児童が社会的事象の見方・考え方を働かせて問いを追究し、調べ考えられるようにした。また、学習したことを毎時間年表にまとめながら授業を進めることで、区や人々の生活の様子の変化について考えることができるように単元を構成した。

##### ③ 子供の学びを確かにする評価の工夫

本小単元では、毎時間、年表にまとめ、振り返りを書くことで児童の学びを確かにしていく。また、「いかす」段階を設け、着目してきた視点や区役所の人の話などから区の発展について考えられるようにした。さらに最後に、自分たちの考えたことを区役所の人に伝える学習を通して、「地域社会の一員として、区の発展について考えようとする」態度について評価する。

## 5 教材構造と問いの構成

本小単元「江戸川区の移り変わり」で働かせたい社会的事象の見方・考え方(視点や方法)に即して教材を分析し、以下のように「教材構造図」に整理した。

### 学習指導要領 第3学年内容(4)

- (4) 市の様子の移り変わりについて、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるようにする。
- ア (ア) 市や人々の生活の様子は、時間の経過に伴い、移り変わってきたことを理解すること。
  - ア (イ) 聞き取り調査をしたり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめること。
  - イ (ア) 交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、市や人々の生活の様子を捉え、それらの変化を考え、表現すること。
- (内容の取扱い)
- ア アの(イ)の「年表などにまとめる」際には、時期の区分について、昭和、平成などの元号を用いた言い表し方などがあることを取り上げること。
  - イ イの(ア)の「公共施設」については、市が公共施設の整備を進めてきたことを取り上げること。その際、租税の役割に触れること。
  - ウ ウの(ア)の「人口」を取り上げる際には、少子高齢化、国際化などに触れ、これからの市の発展について考えることができるよう配慮すること。

### <教材構造図>

過程	概念や知識	資料
つかむ	<p>⑦江戸川区の人口は増加している。人口が増加するとともに、街の様子や人々の生活は移り変わってきている。</p>	<p>学校がある本一色の地域は、昔と今では様子が変わっている。</p> <p>江戸川区の人口は増加している。江戸川の町の様子も変化している。</p>
しらべる	<p>⑧江戸川区の交通や土地利用、公共施設の様子は時代の変化に伴って変わってきた。その時代ごとに人々の思いや願いがある。</p>	<p>江戸川区の土地は変化している。昔は海があった場所が埋め立てられて工場や住宅に変わっている。また、畑や田が多かったが、住宅地になっている。</p> <p>江戸川区は江戸川区が始まる前から電車が通っていた。人が増えたときにさらに地下鉄が開通した。また、大きい道路もできた。</p> <p>江戸川区は人口が増えたときに、同時に学校も増えた。また公園や図書館などの公共施設も増えてきている。</p> <p>町の様子の変化とともに、生活に使われる道具や人々の生活も変わっている。人々の思いも変わってきている。</p>
まとめる	<p>⑨昭和7年に江戸川区が始まり、江戸川区の人口が年々増加していった。人口が増えていくときに区の様子も変化してきた。電車は大正時代から通っていたが、昭和60年頃には地下鉄も開通してさらに住宅地なども増加していった。また学校や図書館などの公共施設も増えていった。また多くの公園も作られ、緑が多い区と変化していった。</p>	
いかす	<p>⑩この先の人口はさらに増えていきそうだ。どんな区に変化していくのかな。年表の続きを考えよう。</p>	<p>江戸川区は緑や川が多いから、そういう自然を大切にしていきたい。そうすれば、公園や川にも人が集まり、町もにぎやかになると思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢化</li> <li>・外国の人の増加による国際化</li> </ul>

本小単元「江戸川区の移り変わり」で働かせたい社会的事象の見方・考え方(視点や方法)を意識して、児童が追究する「問い」の構成と児童の学びの流れを以下のように「問いの構成図」に整理した。

学習指導要領 学年目標 (学びに向かう力・人間性)

社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習も問題を追究・解決する活動を通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- (3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。

<問いの構成図>

視点・方法	本小単元における「問い」の構成例	予想される子供の学びの姿
暮らしの変化	問い：昔の本一色の地域はどのような様子なのだろうか。	学校の周りの本一色の地域は今とずいぶん様子が違っている。江戸川区は今と昔では様子が違う。
	学習問題：江戸川区の様子や人々の生活の様子はどのように変わってきたのだろうか。 めあて：学習問題について予想をして、学習計画を立てよう。	田や畑がなくなって住宅が建てられていると思う。人が増えて交通の手段も増えていると思う。
交通の土地利用の、公共施設の様子の变化	問い：江戸川区の土地の様子はどのように変わってきたのだろうか。	昔は田や畑が多かったけど、今は住宅や工場が増えてきた。
	問い：江戸川区の交通の様子はどのように変わってきたのだろうか。	船が使われていたけれど、高速道路や地下鉄も増えて便利になった。大きな道路も増えた。
	問い：江戸川区の公共施設はどのように変わってきたのだろうか。	人が増えて学校が必要になってきた。学校や図書館の他にも、公園が増えて緑も多くなってきた。
	問い：江戸川区の人々の暮らしの様子はどのように変わってきたのだろうか。	区の様子が変化していくのと一緒に、人の生活も変化していた。
事象と人々の生活を関連付ける	問い：江戸川区の様子の移り変わりについて、自分の考えをまとめよう。 江戸川区は、大正時代から電車が通っていたが昭和に入りさらに地下鉄なども増え、それに合わせて人口も昭和の時代に増えていった。人口が増えることで住宅や工場も増えて土地利用が変化していった。また、区によって公共施設も整備され小学校の数も増え、緑や川を利用した公園もたくさんつくられた。	
区の発展	問い：江戸川区のこれからの町づくりで大切にしていることはどのようなことだろうか。	緑や川の自然を大切にしたい。人とのつながりを大切にする江戸川区になってほしい。
	問い：これからの江戸川区はどのようなようになっていくのだろうか。	

6 小単元の指導計画 (全10時間)

過程	ねらい (数字は時数)	主な学習活動 (○) 問い (◆) めあて (■) 予想される児童の反応 (・)	◎資料 □指導上の留意点 【評価】 (★見方・考え方を働かす)
つかむ	江戸川区の町の様子の移り変わりについて関心をもつ。 ①	○江戸川区の始まりを知る。 ◆昔の本一色の地域の様子はどのような様子なのだろうか。 ○本一色地域の航空写真を見て比較する。 ○学習の振り返りを書く。 ――   本一色の地域は昔と今では様子がちがっている。昔は何もない土地が多く、今は家や高い建物が多い。	◎資料 □指導上の留意点 【評価】 (★見方・考え方を働かす) ◎写真：本一色地域の航空写真 ◎写真：地域の写真 ◎資料：江戸川区の地図 ★航空写真で土地の様子が変化していることを、土地の広がりで見られるようにする。 【態度①】振り返りの記述から「江戸川区の移り変わりについて関心をもっているか」を評価する。
	江戸川区の町の様子と人口の変化から、疑問を見だし、学習問題を立てる。②	○江戸川区の人口の増加を知る。 ■江戸川区の人口の変化をもとに学習問題をつくる。 ○昭和30年頃から昭和60年頃の当時の様子を写真から比較する。 ○比較したことを発表し、学習問題を立てる。 ――   学習問題：江戸川区の様子や人々の生活の様子はどのように変わってきたのだろうか。	◎グラフ：人口推移 ◎写真：昭和の町の様子 □人口が増えたときに、町がどのように変化していったのか、疑問をもたせる。 【思判表①】ノートの記述などから「江戸川区の様子と人々の生活の移り変わりに着目し、問いを見出しているか」を評価する。
	学習問題の予想をし、学習計画を立てることを通して、追究の見通しをもつ。③	■学習問題について予想をして、学習計画を立てよう。 ○第1単元を想起し、予想する視点を確認する。 ○人口が増えたとき、区の様子はどのように変化したのかを予想する。 ・土地の様子 ・交通の様子 ・公共施設 ・人々の生活	◎写真：昭和の町の様子 □第1単元を想起して、視点をもつ。 ★予想を視点ごとに分類して、学習の計画を立てる。 【態度①】ノートの記述から「江戸川区の移り変わりについて予想し、学習計画を立て解決の見通しをもっているか」を評価する。
しらべる	江戸川区の土地利用の変化について資料を読み取り、交通の移り変わりについて理解し、年表にまとめる。 ④<本時>⑤	○航空写真で土地が変化していることを知る。 ◆江戸川区の土地の様子はどのように変わってきたのだろうか。 ○昭和30年頃から現在までの土地の様子の変化を資料から読み取る。 ○地域の人の話を聞く。 ○学習のまとめ。 ――   土地の様子は田や畑が住宅地や工場に変化している。人口が増えたときに、土地に様子も同じように変化していった。	◎写真：江戸川区の航空写真 ◎地図：土地利用図 ◎写真：産業・商店街・工場・住宅地 ★昭和30年頃、昭和60年頃、現在の3つを比較する。 ◎動画：地域の人の話 ★当時の人の様子を聞くことで、人々の思いや願いと関連付ける。 【知技①】ノートの記述などから「土地利用の移り変わりについて資料を通して調べ理解しているか」を評価する。
	◆江戸川区の土地の様子の変化を年表にまとめよう。 ○前時の振り返りをする。 ○地域の方に江戸川区の土地の様子について話を聞く。 ○土地利用の変化を、自作の年表にまとめる。	◎写真：産業・商店街・工場・住宅地 □前時に調べたことを、年表にまとめる。 【知技②】年表から「土地利用の移り変わりについて調べたことを年表にまとめ理解しているか」を評価する。	
	江戸川区の交通の変化について資料を読み取り、交通の移り変わりについて理解し、年表にまとめる。 ⑥⑦	◆江戸川区の交通の様子はどのように変わってきたのだろうか。 ○本時の問いを予想する。 ○昭和30年頃から現在までの交通の変化を資料から読み取る。 ○学習のまとめをする。 ――   交通網は昔から電車は走っていたが、昭和60年頃に地下鉄が開通したことで、江戸川区に住む人がさらに増えた。	◎地図：交通網 ◎写真：東西線・都営新宿線・街道船の様子 ★3つの年代を比較して交通が移り変わった様子を調べる。 ◎ゲストティーチャー：地域の人 【知技①】ノートの記述から「交通の移り変わりについて資料を通して調べ理解しているか」を評価する。
◆江戸川区の交通の変化を年表にまとめよう。 ○前時の振り返りをする。 ○ゲストティーチャーの話を聞く。 ○交通の変化を、自作の年表にまとめる。	◎写真：産業・商店街・工場・住宅地 □前時に調べたことを、年表にまとめる。 【知技②】年表から「交通の移り変わりについて調べたことを年表にまとめ理解しているか」を評価する。		

	江戸川区の公共施設の変化について、資料から読み取り調べ、年表にまとめる。 ⑧⑨	<p>◆江戸川区の公共施設はどのように変わってきたのだろうか。</p> <p>○昭和30年頃から現在までの公共施設の変化を資料から読み取る。</p> <p>○学習のまとめをする</p> <p>┌ 人が増えたと同時に学校などの公共施設も増えた。 ─┐ └ また、区役所なども新しく変わっている。 ─┘</p> <p>◆江戸川区の公共施設の変化を年表にまとめよう。</p> <p>○前時の振り返りをする。</p> <p>○ゲストティーチャーの話聞く。</p> <p>○公共施設の変化を、自作の年表にまとめる。</p>	<p>◎分布図：公共施設</p> <p>◎写真：学校・図書館・公園・区役所</p> <p>★3つの年代を比較して公共施設が移り変わった様子を調べる。</p> <p>◎文書資料：地域の人の話</p> <p>【知技①】ノートの記述から「公共施設の移り変わりについて資料を通して調べ理解しているか」を評価する。</p> <p>◎写真：産業・商店街・工場・住宅地</p> <p>□調べたことを年表にまとめる。</p> <p>【知技②】年表から「公共施設の移り変わりについて調べたことを年表にまとめているか」を評価する。</p>
	道具と生活についての変化を資料から読み取り、人々の生活の様子や生活の道具が変化していることを理解する。⑩	<p>◆江戸川区の人々の暮らしの様子はどのように変わっていったのだろうか。</p> <p>○本時の問いを予想する。</p> <p>○昭和30年頃から現在までの道具の写真を比較する。</p> <p>○調べたことを自作の年表にまとめる。</p> <p>┌ 昔は産業に使っていた道具があったが、田や畑が減 ─┐ └ ったことで、そういう道具もなくなってきた。 ─┘</p>	<p>◎写真：道具・生活の様子</p> <p>□3つの年代を比較して暮らしの様子が移り変わった様子を調べる。</p> <p>◎ゲストティーチャー：地域の人</p> <p>★区の様子と人々の生活の変化を関連付けて考える。</p> <p>【知技①】年表から「生活や人々の暮らしの様子について資料を通して調べ、理解しているか」を評価する。</p>
まとめる	調べてきたことを基に、江戸川区の移り変わりについて、年表にまとめる。⑪	<p>■調べてきたことを基に、江戸川区年表を完成させよう。</p> <p>○これまで作ってきた年表を完成させる。</p> <p>○年表の「今」の部分を変化しているものは年表に書くようにする。</p>	<p>◎年表</p> <p>□3つの年代の移り変わりがわかるように違いをまとめるようにする。</p> <p>【思判表①】年表から「区の様子の移り変わりに着目して、人々の生活の様子の変化を考え、文章に表現しているか」を評価する。</p>
まとめる	学習問題に対する自分の考えをまとめ表現する。⑫	<p>■江戸川区の様子の移り変わりについて自分の考えをまとめよう。</p> <p>○学習問題を確認する。</p> <p>○自作の年表を基に、学習問題に対する自分の考えをまとめる。</p> <p>┌ 昭和7年に江戸川区が始まって人口も増え続けた。 ─┐ └ それと同時に区の様子も変化した、人々の生活や思いも変わり続けてきた。 ─┘</p> <p>○年表の続きを予想して、次時につなげる。</p>	<p>◎年表</p> <p>◎写真：3つの年代の様子</p> <p>★物の変化だけでなく、人々の生活や思いなども変化していることも関連付けてまとめる。</p> <p>【思判表②】ノートの記述から「区の様子の移り変わり」と人々の生活の様子を結び付けて、区の様子の移り変わりについて表現しているか」を評価する。</p>
	江戸川区がこれからの区の発展に向けて大切にしていることなどを区役所の方のお話を聞き理解する。⑬	<p>◆江戸川区のこれからの町づくりで大切にしていることはどのようなことなのだろうか。</p> <p>○これからどのような江戸川区になってほしいか、自分の考えを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緑や水を活かした町になってほしい。</li> <li>・いろいろな人がすめるようになってほしい。</li> </ul> <p>○区役所の方のお話を聞き江戸川区の考えを調べる。</p> <p>○学習の振り返りを書く。</p>	<p>◎ゲストティーチャー：区役所の方</p> <p>□少子高齢化や国際化など、区の現在の様子や区の課題、租税の役割などに触れられる話を聞く。</p> <p>【知技②】ノートの記述などから「区役所の方のお話を聞き、江戸川区の将来について調べ理解しているか」を評価する。</p>
िकास	住み良い江戸川区にするためには、どのような江戸川区になってほしいか、区民の一員として自分の考えをまとめる。⑭	<p>◆これからどのような江戸川区になるとよいだろうか。</p> <p>○区役所の方のお話を振り返り区の取組を確認する。</p> <p>○未来の江戸川区について、自分の考えを絵と文章にまとめ、年表の続きにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公園でイベントやお祭りをやっているから、そういうものを大切に、様々な人と関わることができる町にしていきたい。</li> <li>・江戸川区は緑や川が多いから、そういう自然を大切にしていきたい。</li> </ul>	<p>◎資料：江戸川区未来カンファレンス</p> <p>★区民の一員という意識をもって、江戸川区の将来について考える。</p> <p>□生活の便利さではなく、人々の思いや願いを考えて考えられるようにする。</p> <p>【知技②】【態度②】年表などから「これまでの学習を活用して、区民の一員として区の将来について考え表現しているか」を評価する。</p>
	自分が考えた未来の江戸川区の姿を区役所の方に伝えて、区民の一員として区の発展を考えようとする。⑮	<p>◆未来の江戸川区について自分の考えを伝えよう。</p> <p>○区役所の方に、自分が考えた江戸川区の将来についてまとめたことを発表する。</p> <p>○単元全体の振り返りを書く。</p>	<p>◎ゲストティーチャー：区役所の方</p> <p>◎年表</p> <p>□区役所の方に伝えることで、区民の一人として区の将来を考えたと意識をもてるようにする。</p> <p>【態度②】ノートの記述などから「区民の一員として自分もできることを考えようとしているか」を評価する。</p>

7 本時の学習（4/15時間）

3年1組 江戸川区立本一色小学校 教諭 中基 尚子

(1) 本時のねらい

江戸川区の土地の様子の変化について資料を読み取り、土地の様子の変化について理解する。

(2) 本時の展開

	○主な学習活動 ・児童の予想される反応	□留意点 ★見方・考え方を働かす手立て ◎資料 【評価】
つかむ	○学習計画表から本時の内容を確認する。 ・今日は土地の様子について調べる。  問い 江戸川区の土地の様子はどのように変わってきたのだろうか。	□学習計画表を活用して、学習の見通しをもてるようにする。
しる	○本時の問いについて予想をする。 ・田や畑が住宅に変わっている。 ・川が埋められて土地が広がった。 ○昭和30年頃の土地の様子を資料から読み取る。 ・田や畑が多く、住宅や建物は少ない。 ○地図を見ながら昭和60年頃の土地の様子を白地図に色を塗り、昭和30年頃と比較して、分かったことをノートに書く。 ・昭和30年頃は予想の通り田や畑が多くあって、昭和60年頃になるとほとんどが住宅地や工場に変わっていった。 ○現在の江戸川区の地図を見て、さらに変化したことを捉える。 ・今は住宅が多く、畑がすごく少なくなっている。商店街などのお店も多くなってきた。 ○資料から当時の人々の様子を比較する。 ・昭和30年頃は海苔やアサリをとったりして海でも仕事をしてきた。田植えをしている人もいた。けど昭和60年頃や現在は公園が建てられて、海で何かを獲ったりできない。 ○当時の人のお話を資料から読み取る。 ○わかったことを全体で確認する。	□前時までの様子や、導入の写真を基に予想をするように促す。  ◎地図：土地利用図 ◎白地図 □色を塗ることで、土地の使われ方が変化していることを視覚的に捉えやすくする。 ★2つの年代から何がどのように変化しているのか、具体的に比較できるように全体を捉える見方や部分的な見方をするように伝える。 ★土地の利用の広がりから、空間的に捉えられるようにする。 ◎写真：海苔の養殖・アサリ獲り ◎写真：工場・商店街・住宅地 ◎写真：葛西臨海公園 ◎文書：地域の方のお話 □土地の様子の変化の中に、当時の人々の思いや願いが込められていることに気付くようにする。
まもる	○学習のまとめをする。 ○次回から自作の年表を作ることを確認する。	【知技①】ノートの記述などから「土地利用の移り変わりについて資料を通して調べ理解しているか」を評価する。

<板書> 2/19 問い 江戸川区の土地の様子はどのように変わってきたのだろうか？

予想

- 田んぼや畑がなくなって、家が増えている。
- 高い建物が建てられるようになった。
- 田んぼや畑などの自然が少なくなっている。

調べる

昭和30年ごろ

地図

写真

昭和60年ごろ

地図

写真

今

地図

写真

昭和60年頃になるとほとんどが住宅地や工場に変わっている。

今は住宅がさらに増えて、畑や田んぼなどがさらに少なくなっている。

畑の周りにも家が少しずつ増えてきている。

商店街にもお店が増えている。葛西臨海公園もできている。

地域の方のお話

まとめ

江戸川区は田や畑が多い場所に住宅や工場などの建物がたち土地が変わってきた。地域の人にも土地が変わることを喜ぶ人もいた。